

安全データシート

作成日: 2021年02月03日
改訂日: 2021年02月03日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称：	レザープロテクター_20210203
製品コード：	
整理番号：	
供給者の会社名：	株式会社キャンディルデザイン
住所：	神奈川県川崎市宮前区有馬8-3-11
担当部門：	
電話番号：	044-863-9112
緊急連絡先：	
FAX番号：	
推奨用途：	皮革製品の工業用および/または専門的なケアとメンテナンスのための混合物
使用上の制限：	推奨用途を遵守すること

2. 危険有害性の要約

GHS分類 GHS分類に該当するデータは得られていない。

GHSラベル要素

絵表示 なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報
データなし

注意書き

安全対策	データなし
応急措置	データなし
保管	データなし
廃棄	データなし

GHS分類に関係しない
またはGHSで扱われない
他の危険有害性

EUH210: 安全データシートは要請に応じて入手可能。
EUH208：クロロクレゾールを含む。アレルギー反応を引き起こす可能性がある。
EUH208：1,2-ベンズイソチアゾール-3(2H)-オンを含む。アレルギー反応を引き起こす可能性がある。

EUH208：イソチアゾリノン類の反応生成物を含む。アレルギー反応を引き起こす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
4-クロロ-3-メチルフェノール	$0.1 \leq \sim < 0.25\%$	-	-	59-50-7
1, 2-ベンゾチアゾリン-3-オン	$0.01 \leq \sim < 0.05\%$	-	-	2634-33-5
2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1, 2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	0.0014%	-	-	55965-84-9

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合： 皮膚を速やかに洗浄すること。
皮膚の刺激が持続する場合は、医師の診察・手当てを受けること。

眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当てを受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状： データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項： データなし

医師に対する特別な注意事項： データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
使ってはならない 消火剤：	棒状注水
特有の危険有害性：	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガス、煙霧を発生するおそれがある。 消火水は汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法：	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の特別な 保護具及び予防措置：	自給式呼吸器（SCBA）眼や皮膚を保護する耐熱性の完全防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・ 保護具及び緊急時措 置：	個人用保護具を着用すること 人員を安全な場所に避難させること 第7項及び第8項の保護措置を参照すること
環境に対する注意事 項：	土壌・地下への侵入を防ぐこと 地表水や下水への侵入を防ぐこと ガスの漏洩または水路、土壌、下水への流入が生じた場合は、担当当局に通報すること 回収に適した資材：不活性吸収材
封じ込め及び浄化の方 法及び機材：	漏洩または流出を止め、不活性吸収材を使用して汚染箇所を囲むこと 現行の法令および規範に従って回収・廃棄すること 下水に流さないこと
二次災害の防止策：	環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	
技術的対策：	局所排気装置を使用すること。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項：	皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避：『10. 安定性及び反応性』を参照。
特別な場合があれば、他も記載する

衛生対策：作業中は飲食しないこと
喫煙しないこと
使用後は手を洗うこと

保管：

安全な保管条件：容器は遮光し、冷暗所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料：供給者が提供した容器と同等の材質

8. ばく露防止及び保護措置

化学名または 一般名	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
該当物質なし			

設備対策：ほとんどの作業には、十分な換気が一般的に適切である
換気が不十分な場合は、局所排気システムを使用すること

保護具：

呼吸用保護具：通常の使用では必要としない

手の保護具：保護手袋を使用すること（EN 374）

眼、顔面の保護具：通常の使用では必要としない

皮膚及び身体の保護具：通常の使用では特別な予防措置は必要としない

特別な注意事項：採用する個人用保護具は、適用規格への適合を示すCEマークが付いていること
適切な作業慣行を採用すること
製品との長時間または不必要な接触を避けること
換気の良い場所で使用すること
目や皮膚に付着させないこと
化学物質を取り扱う際は、あらゆる合理的な予防措置に従うこと
正しい個人衛生を実践すること

作業区域内での飲食物の摂取または保管を行わないこと
喫煙または飲食の前に手を洗うこと

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	液体
形状：	データなし
色：	無色
臭い：	微臭
融点/凝固点：	0 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲：	100 °C
可燃性：	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界：	該当なし
引火点：	>100 °C
自然発火点：	該当なし
分解温度：	該当なし
pH：	8 +/- 1 (1:10)
動粘性率：	Not available
溶解度：	miscible
n-オクタノール/水分配係数（対 数値）：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	0.96 +/- 0.05 g/cm3
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	データなし
化学的安定性：	光により変質するおそれがある。
危険有害反応可能性：	通常の処理ではなし。
避けるべき条件：	高温と直射日光
混触危険物質：	強酸化剤 強酸 強アルカリ
危険有害な分解生成物：	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	分類できない 毒性未知成分の合計が0.301398% $\geq$ 0.1%であるため、分類できないとした
急性毒性（経皮）	分類できない 毒性未知成分の合計が0.301398% $\geq$ 0.1%であるため、分類できないとした
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外） GHS定義による気体ではない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない 毒性未知成分の合計が0.301398% $\geq$ 0.1%であるため、分類できないとした
急性毒性 （吸入：粉じん・ミスト）	分類できない 毒性未知成分の合計が0.301398% $\geq$ 0.1%であるため、分類できないとした
皮膚腐食性・刺激性	区分に該当しない 加成方式より区分がつかないため、区分に該当しないとした
眼に対する重篤な 損傷・眼刺激性	区分に該当しない 製品は、加成方式からは危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
呼吸器感作性	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
皮膚感作性	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
発がん性	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖毒性	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
生殖毒性・授乳影響	— 授乳影響に関するデータが存在しない。
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない 製品は、危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
誤えん有害性	分類できない データ不足のため、分類できないとした。
その他	【暴露経路の可能性】 製品自体の実験データがない場合、健康有害性は、適用される分類規制に規定された基準を用いて、含有物質の特性に基づいて評価される。 【その他の情報】 本製品は過敏症の方にアレルギー反応を引き起こす可能性がある。 主要物質に関する追加情報：特になし。 内分泌攪乱特性：濃度 $\geq 0.1\%$ の内分泌攪乱物質は含まれていない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期 (急性)：	区分に該当しない 方式1：全栄養段階の毒性値データが揃っている成分が2つ以上存在しないため、方式1の実施基準に該当しない。 方式2：全ての成分において毒性値データが不十分であるため、方式2の実施基準に該当しない。 方式3：成分加算のみにより、区分を求める 区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない 区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しないとした。
水生環境有害性長期 (慢性)：	区分に該当しない 方式1：全栄養段階の毒性値データが揃っている成分が2つ以上存在しないため、方式1の実施基準に該当しない。 方式2：全ての成分において毒性値データが不十分であるため、方式2の実施基準に該当しない。 方式3：成分加算のみにより、区分を求める 区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しない 区分計算の結果該当する区分がないため、区分に該当しないとした。
生態毒性：	環境有害性に分類されない。入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。製品が環境中に放出されないよう、適切な作業手順を採用すること。
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	分類できない 分類できない 本成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
その他：	【その他の悪影響】 結論/要約： なし

PBT/vPvBステータス:
vPvB物質: なし - PBT物質: なし
内分泌かく乱特性:
濃度 $\geq 0.1\%$ の内分泌かく乱物質は含まれていない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄においては、廃掃法及び関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処
理を委託する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切
な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	本物質は輸送規制対象外である (ADR/RID、IMDG、IATA、ICAO)
品名:	データなし
クラス:	データなし
容器等級:	データなし
副次的危険性:	データなし
海上規制情報:	データなし
海洋汚染物質:	データなし
MARPOL 73/78、附属書 II、 IBCコードに従ってばら積み輸送 される液体物質:	非該当
航空規制情報:	データなし

国内規制:

陸上規制情報:	データなし
海上規制情報:	データなし
航空規制情報:	データなし
特別の安全対策:	データなし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法):	非該当
労働安全衛生法:	名称等を通知すべき危険物及び有害物 ・ 4 - クロロ - 3 - メチルフェノール 規則別表第2の569 令和7年4月1日施行
毒物及び劇物取締法:	非該当
化審法:	優先評価化学物質

・ 1, 2 -ベンゾチアゾリン- 3 -オン

水質汚濁防止法：

指定物質

・政令第3条の3第55号 フェノール類及びその塩類

生活環境項目

・政令第3条第5号 フェノール類含有量

下水道法：

・法第12条の2 排水基準：4-クロロ-3-メチルフェノール

水道法：

・法第4条 排水基準：4-クロロ-3-メチルフェノール

・法第4条 水質基準項目：4-クロロ-3-メチルフェノール

16. その他の情報

参考文献：

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

事業者向けGHS分類ガイダンス(令和元年,経済産業省)

化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (NITE)

国際化学物質安全性カード (International Chemical Safety Cards (ICSC)

2020版危険物輸送のための緊急時応急措置指針 容器イエローカードへの適用

危険物船舶運送及び貯蔵規則 (21訂版) 国土交通省海事局検査測度課

監修

製造元メーカー提供資料

その他：

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

なお、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

また、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものです。

全ての化学製品は、未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。